令和３年度 市民アンケート調査

皆さんの意見を市政に反映させるために

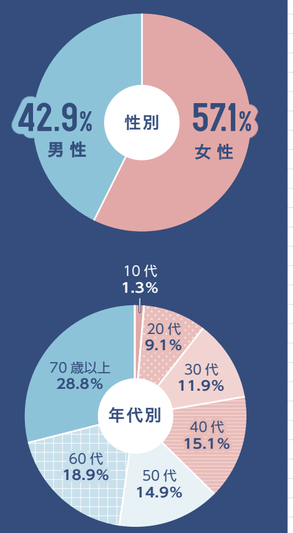
市は、市政への市民参画や協働によるまちづくりのため、市民アンケート調査を毎年行っています。昨年８月に行った調査の主な結果をお知らせします。なお、全５テーマ 30 問の調査結果は、市役所本庁舎６階の広聴広報課や各支所、各図書館などで閲覧できる他、市ホームページにも掲載しています。

調査の概要

【問】広聴広報課☎ 626-7517 【広報ＩＤ】1038718

市内在住の 18 歳以上の人の中から、3000 人を無作為で選び、アンケート調査票を送付。46.7㌫に当たる 1400 人から回答をいただきました。回答者の性別と年代別の比率は右のグラフのとおりです。

※端数処理や複数回答の設問があるため、それぞれの割合の総計が 100 にならない場合があります
※複数回答の設問は、主な回答を５つまで掲載しています
※回答者の性別及び年齢は、令和３年６月30 日現在の住民票データに基づきます。



Theme 01 健康づくりについて

担当：健康増進課☎ 603-8305、スポーツ推進課☎ 603-8013

健康づくりや食事で心掛けていることは何ですか。

担当課から▶毎日朝食を取る人の割合は７割を超えましたが、栄養バランスや減塩を心掛けている人の割合は半数以下にとどまりました。市が開催している健康教室などで、毎食野菜を取ることや食事リズムの大切さ、取り入れやすいバランス食の提案などをさらに推進していきます。（健康増進課）

運動に関する項目では、「日頃から体を動かす」、「スポーツ・レクリエーション活動を行っている」と回答した人は合計で 50.4㌫でした。市では、成人が週１回以上スポーツをする割合を 65.0㌫以上とすることを目標に掲げています。スポーツが市民の皆さんの日常生活の中に自然に取り込まれていくような仕組みづくりに取り組みます。（スポーツ推進課）

健康づくりに対して市から付与されるインセンティブ※は何がいいですか。

※インセンティブ（奨励や報奨）

担当課から▶「お店の支払いに利用できるポイントの付与」など、生活での利益につながるインセンティブが期待される傾向にあります。体重・血圧の記録や日々のウオーキング、健康教室への参加などに対してインセンティブを付与することや、広報もりおかでの事例紹介など、楽しみながら健康づくりに取り組むことができる仕組みを検討していきます。（スポーツ推進課）

Theme 02 芸術文化活動について

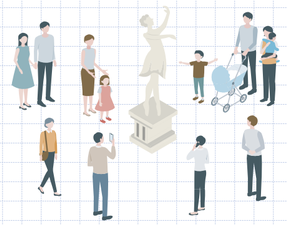
担当：文化国際課☎ 613-8465

芸術文化活動に気軽に参加するために必要なことは何ですか。

担当課から▶体験教室や講座などに参加する機会の増加や、初心者向け、参加費が安価な活動などが求められています。初心者や、普段活動していない人が気軽に参加できるような取り組みを検討します。

子どもが芸術文化に親しむため、市が力を入れるべきことは何ですか。

担当課から▶学校で芸術に触れる機会への期待が 62.4㌫と最も高い結果となりました。また、自由記載の回答には、休日でも子どもが部活動などで時間がとれないといった意見もあったことから、児童や生徒が、学校行事の一環として芸術文化に触れられる機会の提供に取り組みます。

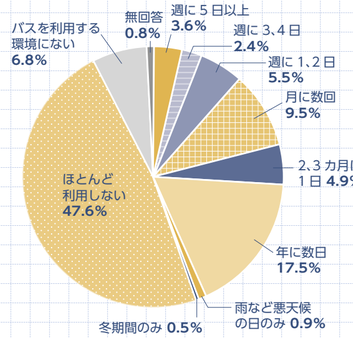


Theme 03 交通手段について

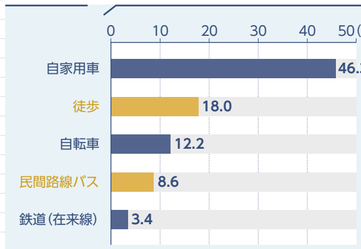
担当：交通政策課☎ 626-7519

民間路線バスをどの程度利用していますか。

担当課から▶昭和 48 年度から平成 20 年度まで減少傾向にあったバス利用者数は、その後、平成 26 年度まで増加、以降維持されています。コロナ禍で、密な環境となりがちなバス利用を敬遠しているという声もある中、約 20㌫の人が月に数日以上バスを利用していることが分かりました。バスの利便性向上のため、交通系ＩＣカード対応の車両を増やすことを目指すとともに、70 歳以上の高齢者の足となる「まちなか・おでかけパス」をはじめとした施策についても継続的に推進していきます。



日頃の通勤・通学に利用している主な交通手段は何ですか。

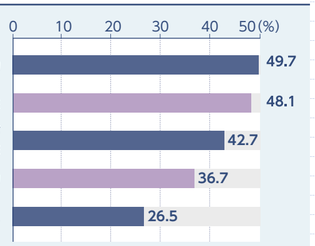


担当課から▶46.3㌫の人が自家用車を利用しており、公共交通機関を日常的に利用する人はいずれも 10㌫を下回っています。複数の交通手段をつなぐ公共交通網を構築して、通勤・通学時の渋滞緩和を実現し、より多くの市民の皆さんに、通勤・通学で公共交通機関を利用してもらえる取り組みを進めます。

Theme 04 教育について

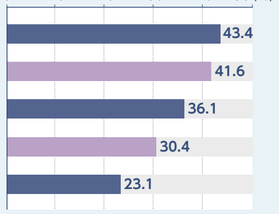
担当：教育委員会総務課☎ 639-9043

児童教育において大切にすべきことは何ですか。



担当課から▶自ら考える力や想像力を伸ばすとともに、道徳性を育むことなどが求められています。深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視して授業を改善し、思考力や想像力を育むとともに、自分ごととして「考え、議論する」授業を通して道徳性を育みます。

地域の教育力を高めるために必要な取り組みは何ですか。



担当課から▶自然や生活、ボランティアなどの体験や地域の人との関わりなどが必要と捉えられています。今後も、教育振興運動や、新たに導入予定の学校運営に地域の声を反映させるコミュニティ・スクールなどの取り組みを通じて、体験活動や読書活動を充実させたり、子どもたちに情報メディアとの付き合い方を教えたりするなど、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていくよう取り組んでいきます。

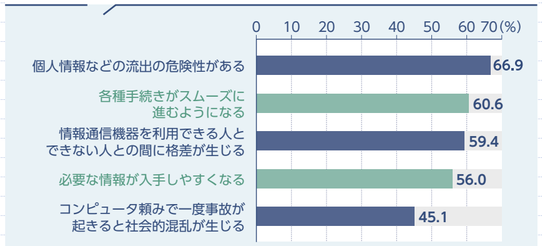
Theme 05 盛岡市役所のデジタル化について

担当：情報企画課☎ 626-7514

行政のデジタル化により期待することは何ですか。

担当課から▶スマートフォンなどの情報機器の普及により、インターネットを活用した、場所や時間に捉われない行政サービスの提供が求められています。行政手続きのオンライン化や、個人のニーズに合わせた情報の配信などに取り組みます。

デジタル化の進展により生じる影響をどのように考えていますか。



担当課から▶50㌫を超えた項目が４つあり、デジタル化の進展への期待と不安が入り混じる結果となりました。デジタル化を進めるに当たっては、個人情報保護や情報格差の是正に力を入れ、市民の皆さんが安心して利用できる環境の整備に取り組みます。